

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 切除不能膵臓癌に対する全身化学療法の安全性と有用性の検討
	研究の対象 2012年1月～2021年12月に当院消化器内科で膵癌の全身化学療法を受けられた方 200名
	研究の目的 膵癌の化学療法は、2013年まで単剤療法が主流でした。2013年以降、複数の併用療法（2種類以上の抗がん剤を使う化学療法）が登場し、FOLFIRINOX療法、GnP(ゲムシタピン+アブラキサン)療法をはじめとする治療により以前より高い効果を得られるようになったと考えられています。また副作用等のマネジメントも治療継続に重要とされています。ただし併用療法が、どの程度膵癌の治療に本当に有効であるかは、まだまだ不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、併用療法の化学療法が、膵癌の進行抑制、症状緩和に、どの程度効果があるかを明らかにすることを目的とします。
	研究の期間 研究機関の長による実施承認日から2026年3月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又	研究に使用する試料・情報

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>は提供する試料・情報の項目</p>	<p>情報：年齢、性別、病歴、治療歴、血液検査結果、CT等の画像検査結果、副作用等の発生状況、カルテ番号 等</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 山出美穂子</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 内科学第一講座 山出美穂子</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールをお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

部署名： 内科学第一講座

担当者： 山出 美穂子

TEL： 053-435-2261

E-mail： miyamade@hama-med.ac.jp